

# New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～  
2013年10月

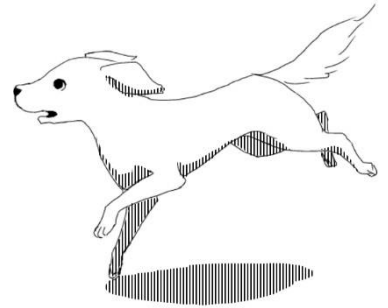
信じていますか？

「あなたは神さまを信じていますか？」  
そのように問われたら、何と答えますか。

日本人の多くは「無宗教」だと言われています。しかし一方で、宗教的行事に大変熱心である側面もあります。全国民の70%が初詣に訪れ、それより割合は少ないにせよ新生児を連れてのお宮参り、七五三、厄祓い、新車の祈願などで神社仏閣を訪れます。結婚式や葬儀も、何らかの宗教的儀式に則って行われることが多いようです。家庭にも仏壇や神棚を置き、由緒正しい家系になると敷地内に祠を祀っているところもあります。どのくらい真剣に、真摯に向き合っているかという程度は人によって様々でしょうが、ともかくも本当に「無宗教」な生活をしている人はとても少なそうです。

そういう意味では、多くの人たちは「何らかの神さま的な存在を信じている」と言えるのかも知れません。

では、その『神さま』とは、どんな存在なのでしょう。



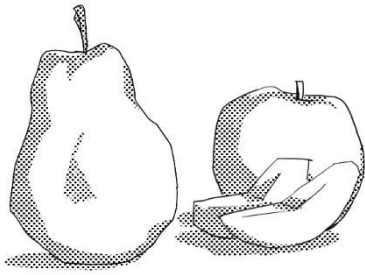
## 『気休め』ではなく

『神』とは、どんな存在？

ある人は「『神』なんて、いると思う人にはいるし、いないと思う人にはいない、そんなもの」と言います。「こころ穏やかに、安らかに過ごすことができる拠り所として、『神』という存在があっても良いのではないか」そういう方もいます。でも聖書では、神ご自身が次のように語っています。

わたしのほかに神はない。わたしは義なる神、救主であって、わたしのほかに神はない。  
(旧約聖書 イザヤ書 第45章21節)

人間が「神」と呼びならわす存在は、世界中にたくさんあります。日本でも「八百万(やおよろず)の神」と言われ、あらゆる物に神が宿るとされています。しかし、聖書で語られる「神」は、同じ単語を使っていますが全く違う存在です。「創造主」という言い方のほうが正確かも知れません。



ドイツの哲学者ニーチェは「神は死んだ(Gott ist tot)」と語りました。しかし天地万物の創造主は、人間がその存在を否定したり無視したりしたからと言って、居なくなったりするものではありません。彼自身は晩年狂気に陥ってしまいました。創造主を否定したからと言って、彼自身に幸いが訪れることは無かったのです。

「創造主」が、単なる気休めや思想でしかないのであれば、特に気に留める必要もないでしょう。居もしない「神」を信じているのが少々愚かしく感じられるだけです。しかし「神」が実在するのにそれを否定しているとしたら、それやはり「愚かしい」事なのではないでしょうか。

聖書には、「唯一の神」「創造主」について書いてあります。そして、あなた自身が受け入れるなら、この「創造主」を体験し実感し、確かに自分自身の人生に密接に関わりのある方であると知ることができます。「気休め」の神ではなく、実在する本当の創造主を求め、知っていただきたいと思います。

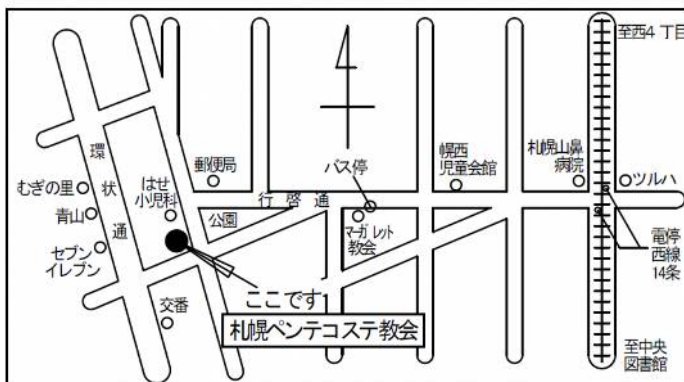
## 祈ってみましょう

天地の創造主である神さま。あなたを知り、体感し、実在を知ることができるように助けて下さい。イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

# 教会の定期集会のご案内

- GP クラブ    こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)  
聖日礼拝    聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)  
祈り会    神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて  
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、  
JR 北海道バス啓明線[51]にて  
南 14 条西 17 丁目下車